

吹 田 市

交通バリアフリー 道路特定事業計画

千里山・関大前地区、南千里地区



平成20年(2008年)5月



大阪府吹田市

目

次

1.	けいかくがいよう 計画概要	
1. 1	もくてき 目的	1-1
1. 2	たいしょう ち く いちらんおよ い ち す 対象地区一覧及び位置図	1-2
2.	せんりやま かんだいまえちくどうろとくていじぎょうけいかく 千里山・関大前地区道路特定事業計画	
2. 1	せんりやま かんだいまえちく がいよう 千里山・関大前地区の概要	2-1
2. 2	せんりやま かんだいまえちくとくていけいろせいびけいかくす 千里山・関大前地区特定経路整備計画図	2-2
2. 3	とくていけいろじぎょうけいかく 特定経路事業計画	2-3
2. 4	せんりやま かんだいまえちくじゅんとくていけいろせいびけいかくす 千里山・関大前地区 準 特定経路整備計画図	2-5
2. 5	じゅんとくていけいろじぎょうけいかく 準 特定経路事業計画	2-6
3.	みなみせんりちくどうろとくていじぎょうけいかく 南千里地区道路特定事業計画	
3. 1	みなみせんりちく がいよう 南千里地区の概要	3-1
3. 2	みなみせんりちくとくていけいろせいびけいかくす 南千里地区特定経路整備計画図	3-3
3. 3	とくていけいろじぎょうけいかく 特定経路事業計画	3-4
3. 4	みなみせんりちくじゅんとくていけいろせいびけいかくす 南千里地区 準 特定経路整備計画図	3-9
3. 5	じゅんとくていけいろじぎょうけいかく 準 特定経路事業計画	3-10
4.	せさく ソフト施策	4-1
5.	どうろとくていじぎょうせいび 道路特定事業整備スケジュール	5-1

1. けいかくがいよう 計画概要

1. 1 目的

現在、我が国では高齢化が急速に進んでおり、平成27年（2015年）には国民の4人に1人が65歳以上の高齢者となるという他に例を見ない高齢社会を迎えようとしており、高齢者の方々が安心して暮らすことができる社会の形成が望まれています。また、障害者等の方々についても、社会・経済活動への積極的参加の実現が強く求められています。

吹田市では、これらの方々が気軽に安心して移動できるようにするため、さまざまな施策を通じてバリアフリー化を進めてきましたが、移動にあたっては現に様々なバリア（障壁）が存在しており、このバリアフリー化（障壁の除去）が大変重要な課題となっています。

このような状況の中で、平成12年（2000年）11月に、「高齢者、身体障害者等の公共交通機関を利用した移動の円滑化の促進に関する法律」、いわゆる「交通バリアフリー法」が施行され、吹田市では「誰もがやさしくなれる吹田のまちづくり」を基本理念とし、平成15年（2003年）4月に第1段階として3地区6駅（江坂地区、山田地区、吹田・豊津地区）を対象とした吹田市交通バリアフリー基本構想を策定しました。さらに、平成18年（2006年）には、第2段階として3地区4駅（桃山台地区、千里山・関大前地区、南千里地区）の基本構想を策定しました。

今回、この基本構想で定めた重点整備地区内の特定経路等（吹田市管理道路）のバリアフリー化を推進するため、本道路特定事業計画（千里山・関大前地区、南千里地区）を策定したもので、今後はこの事業計画に沿って、事業を行っていきます。

1. 2 対象地区一覧及び位置図

(1) 対象地区一覧			
対象地区名称		地区面積	
1	千里山・関大前地区	1.76km ²	
2	南千里地区	2.36km ²	

(2) 対象地区位置図

吹田市重点整備地区位置図

(3) 吹田市の人口・面積			
市町村人口 (平成19年8月末 吹田市調査)	351,940 人	市町村面積	36.11km ²

2. せんりやま かんだいまえ ち く 千里山・関大前地区 どうろとくていじぎょうけいかく 道路特定事業計画

2. 1 千里山・関大前地区の概要

(1) 千里山・関大前地区の概要

- 千里山駅周辺では、築後50年近くが経過した千里山団地について、老朽化とともに現在の生活ニーズに相應しい、新しい良質な住環境の供給が求められていることから、建替計画の具体化の時期を迎えています。そこで、まちの将来像についてとりまとめ、地域が抱える課題の総合的・一体的な解消をめざした「千里山駅周辺まちづくり懇談会」が、平成17年（2005年）7月に設立されました。
- 高齢者や身体障害者等がよく利用する施設として、千里山佐井寺図書館等があります。また、関大前駅の駅東部に関西大学が立地しており、周辺の歩道は、幅員が不足している箇所や、迷惑駐輪等が多くあり、早急なバリアフリー化整備が求められています。

(2) 千里山・関大前地区内施設状況

1) 主な施設

施設名	種類
阪急千里山駅	特定旅客施設
阪急関大前駅	
パレフタバ	商業施設
千里山商栄会	
千里山佐井寺図書館	公共施設
関西大学・関西大学第一高等学校・ 関西大学第一中学校・関西大学幼稚園	教育施設

(3) 千里山・関大前地区の人口

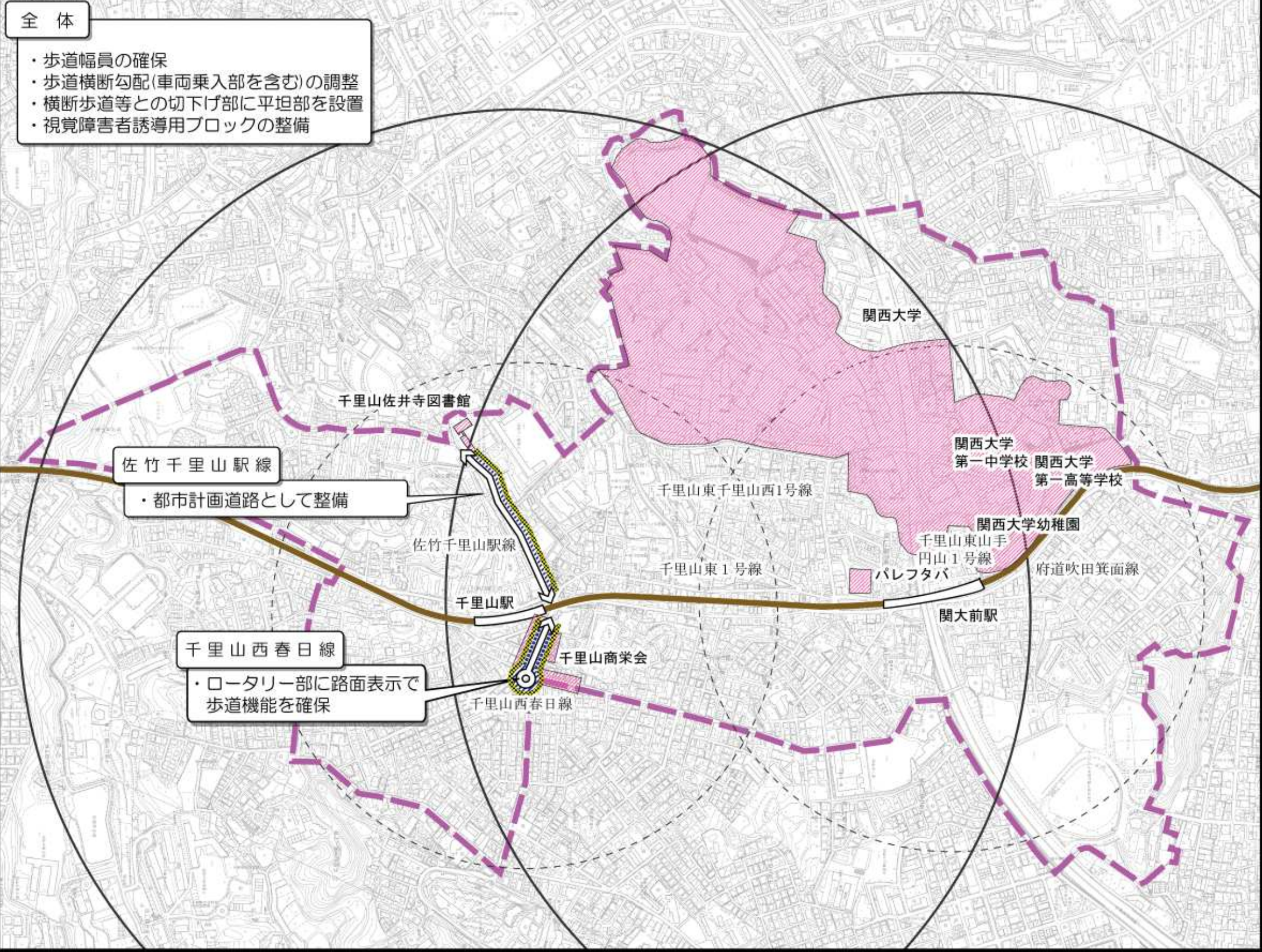
人口※1：14,439人

高齢化率※2：18.3%

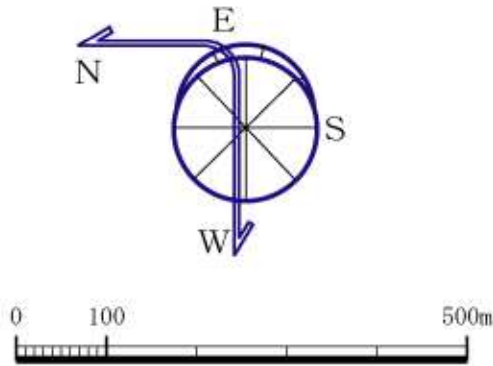
※1：国勢調査（S50～H12）、H17住民基本台帳

※2：65歳以上居住者人口比率

2. 2 千里山・関大前地区特定経路整備計画図



凡 例		
施設	交通拠点	駅名
	施設	
経路	事業実施経路	⇄
既設道路の改良	歩道有効幅員の確保	////
個別施設の整備改良等	段差・勾配等既設道路の改良	
視覚障害者誘導用ブロックの設置		



路線名	延長(m)	事業費(百万円)	実施時期	
			着手予定	完了予定
佐竹千里山駅線	340	1,360.0	H21	H26
千里山西春日線	370	23.7	H23	H24
合 計	710	1383.7	—	—

2. 3 特定経路事業計画

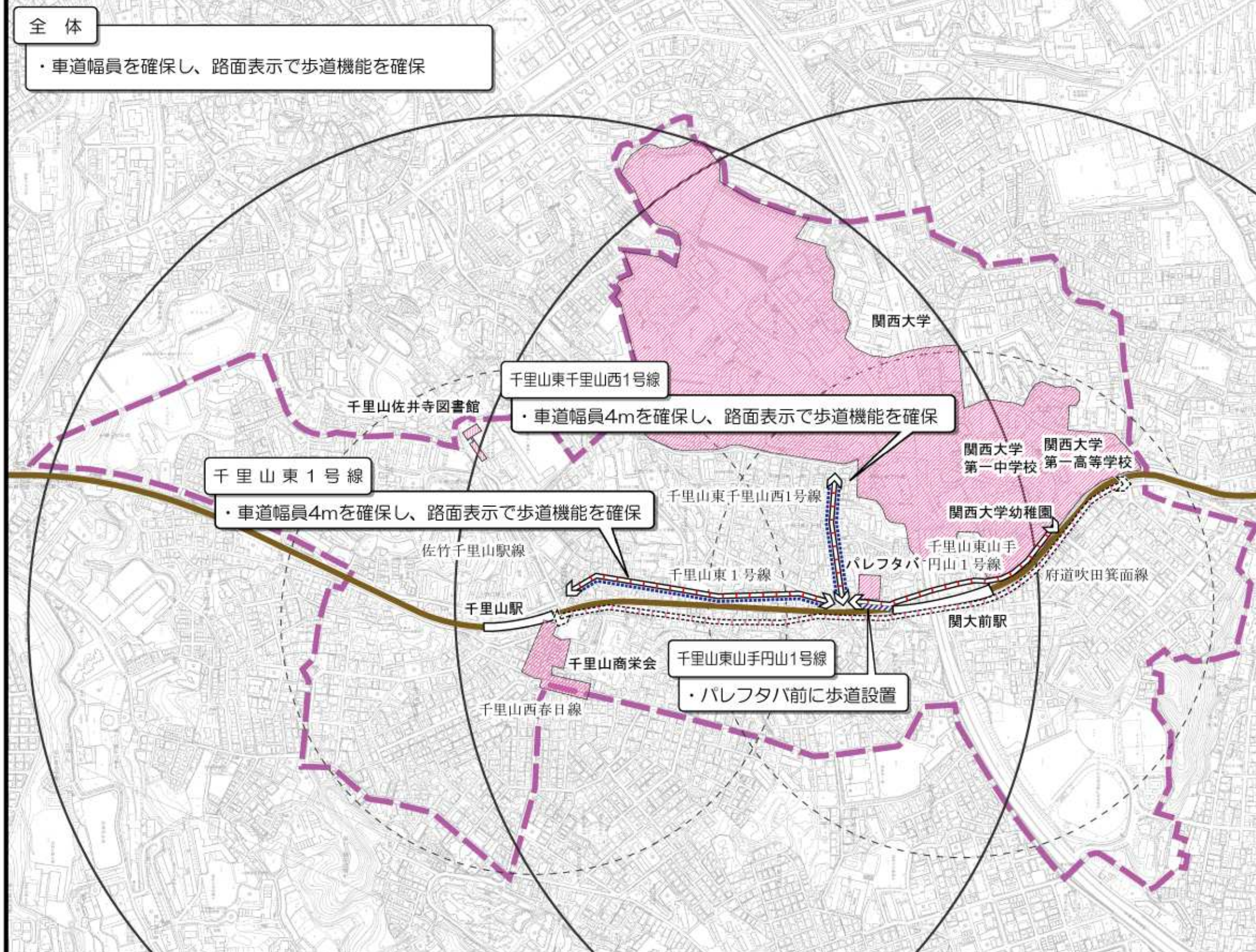
個別事業計画（1）

業務区分 特定経路			
路線名 佐竹千里山駅線（都市計画道路 千里山佐井寺線）			
事業区間 阪急千里山駅前踏切～千里山・佐井寺図書館前			
延長 340 m			
整備方針	・都市計画道路として整備する		
事業の内容	事業量 (延長/箇所数)	実施予定期間	
		着手	完了
都市計画道路としての整備	340.0 m	H21年度	H26年度
事業実施に際し配慮すべき 重要事項	・緊急対応が必要な補修等は別途実施する		

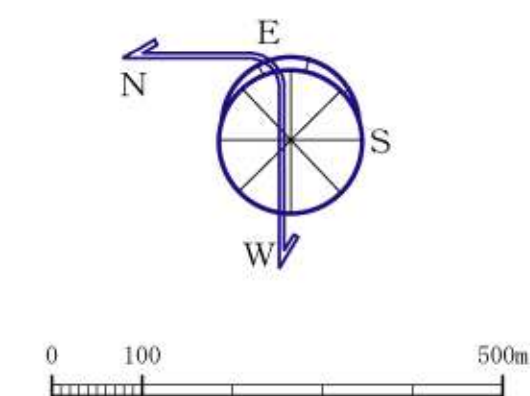
個別事業計画（２）

業務区分 特定経路			
路線名 千里山西春日線（都市計画道路 春日豊津線）			
事業区間 阪急千里山駅前踏切～千里山第一噴水前			
延長 370 m			
整備方針	・車道と歩道の段差・舗装老朽化の解消 ・歩道切下部の段差・勾配の解消（交差点部） ・ロータリー部分の路面表示による歩道機能確保 ・視覚障害者誘導用ブロックの整備		
事業の内容	事業量 (延長/箇所数)	実施予定期間	
		着手	完了
歩道確保	78.3 m	H23年度	H24年度
歩道幅員の確保	71.5 m	H23年度	H24年度
歩道内の段差、勾配の改善（一般部）	166.5 m	H23年度	H24年度
車道・横断歩道等との段差・勾配の改善	1.0 箇所	H23年度	H24年度
視覚障害者誘導用ブロックの整備	260.6 m	H23年度	H24年度
事業実施に際し配慮すべき 重要事項			

2. 4 千里山・関大前地区準特定経路整備計画図



凡 例		
施 設	交 通 拠 点	駅 名
	施 設	
経 路	事 業 実 施 路 準 特 定 経 路	《←→》
既 設 道 路 の 改 良	歩 道 有 効 幅 員 の 確 保	////
個 別 施 設 の 整 備 改 良 等	路 面 標 示 工 (カラー舗装)	
視覚障害者誘導用ブロックの設置		



路 線 名	延長 (m)	事業費 (百万円)	実 施 時 期	
			着手 予定	完了 予定
千 里 山 東 1 号 線	600	2.0	H25以降	
千里山東千里山西1号線	280	2.1	H25以降	
千里山東山手円山1号線	500	6.7	H25以降	
合 計	1,380	10.8	—	—

2. 5 準特定経路事業計画

個別事業計画（1）

業務区分 準特定経路			
路線名 千里山東1号線			
事業区間 阪急千里山駅前踏切～阪急関大前駅北踏切			
延長 600 m			
整備方針	・現道西側部分に車道を幅員4mで確保し、残りの幅員は路面表示で歩道機能を確保する。		
事業の内容	事業量 (延長/箇所数)	実施予定期間	
		着手	完了
その他の整備			
路面表示工（カラー舗装W=2.0m）	507.2 m	H25年度以降	
事業実施に際し配慮すべき 重要事項			

個別事業計画（２）

業務区分 準特定経路			
路線名 千里山東千里山西1号線			
事業区間 阪急関大前駅北踏切～関西大学正門前			
延長 280 m			
整備方針	・現道中央部分に車道を幅員4mで確保し、残りの幅員は路面表示で歩道機能を確保する。		
事業の内容	事業量 (延長/箇所数)	実施予定期間	
		着手	完了
その他の整備			
路面表示工（カラー舗装W=2.0m）	531.4 m	H25年度以降	
事業実施に際し配慮すべき 重要事項			

個別事業計画（3）

業務区分 準特定経路			
路線名 千里山東山手円山1号線			
事業区間 阪急関大前駅北踏切～関西大学幼稚園南踏切			
延長 500 m			
整備方針	・パレフタバ前に5mの幅員で車道を確保し、残りの幅員（線路側）に歩道を整備		
事業の内容	事業量 (延長/箇所数)	実施予定期間	
		着手	完了
歩道確保	42.8 m	H25年度以降	
事業実施に際し配慮すべき 重要事項			

3. みなみせんり ち く 南千里地区 どうろとくていじぎょうけいかく 道路特定事業計画

3. 1 南千里地区の概要

(1) 南千里地区の概要

- ・南千里地区は、丘陵地にある良好な住宅地区内に位置しています。
- ・南千里駅周辺に位置する千里南地区センターの再整備計画の具体化を検討するための南千里地区まちづくり懇談会が、平成17年（2005年）9月に設立されました。
- ・本地区は、高齢者や身体障害者等がよく利用する施設として、済生会千里病院等の医療・保健施設の集積地やホテルマーレ、千里南公園等が立地しており、安全・安心・快適に移動できる歩行空間を確保する必要があります。

(2) 南千里地区内施設状況

1) 主な施設

施設名	種類
クリエテ阪急南千里店	商業施設
保健センター南千里分館	医療・保健施設
千里救命救急センター	
休日急病診療所	
済生会千里病院	
千里府民健康プラザ	公園施設
千里南公園	
南千里庁舎	公共施設
高野台B1商店街	商業施設
高野台市民ホール	公共施設
南千里市民プール	
高野公園	公園施設
佐竹台市民ホール	公共施設
佐竹台商店会	商業施設
特別養護老人ホーム青藍荘	福祉施設
好日荘	公益施設
津雲台市民ホール	公共施設
ジャスコ南千里店	商業施設
ミドリ電化南千里店	

1) 主な施設（まちづくり懇談会検討範囲内）

施設名	種類
千里市民センター	公共施設
千里出張所	
千里図書館	
千里南センタービル	
ガーデンモール南千里	商業施設
阪急オアシス	
ホテルマーレ南千里	

(3) 南千里地区の人口

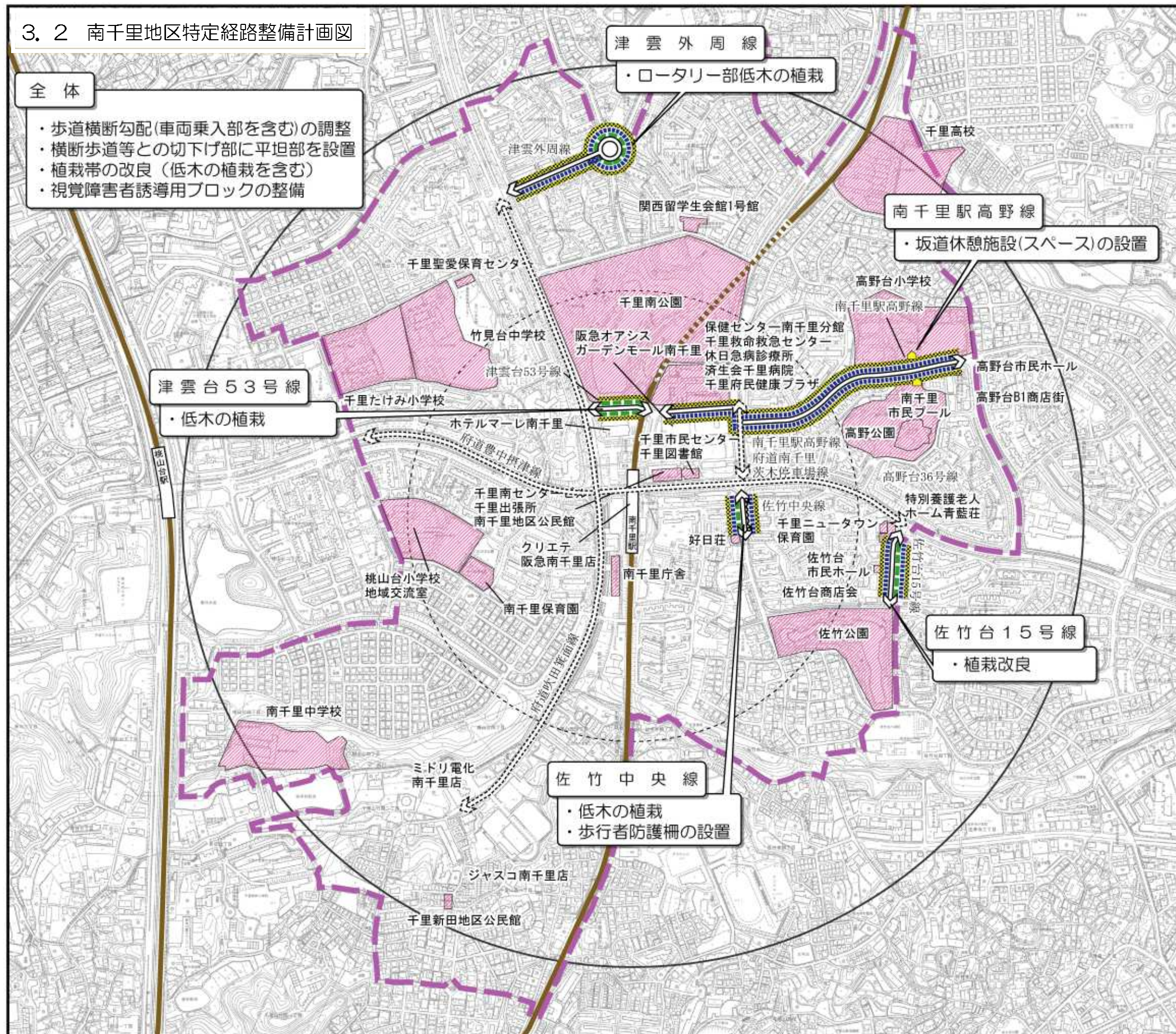
人口※1：25,290人

高齢化率※2：24.7%

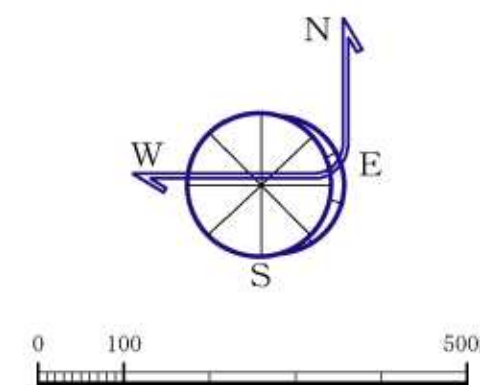
※1：国勢調査（S50～H12）、H17住民基本台帳

※2：65歳以上居住者人口比率

3. 2 南千里地区特定経路整備計画図



凡 例		
施 設	交 通 拠 点	駅 名
	施 設	
経 路	事 業 実 施 路	《 》
	段 差 ・ 勾 配 等 既 設 道 路 の 改 良	
	休 憩 ス ペ ー ス の 確 保	▲
	歩 行 者 防 護 柵 の 整 備	~~~~~
個別施設の整備改良等	植 樹 帯 の 改 良	-----
	視覚障害者誘導用ブロックの設置	



路 線 名	延長 (m)	事業費 (百万円)	実 施 時 期	
			着手 予定	完了 予定
津雲台53号線	130	9.6	H22 H25以降	H22
南千里駅高野線	760	50.1	H22	H23
津雲外周線	400	37.6	H21 H25以降	H21
佐竹台15号線	210	28.1	H25以降	
佐竹中央線	100	16.0	H23 H25以降	H23
合 計	1,600	141.4	—	—

※概ねバリアフリー化されている路線については視覚障害者誘導用ブロックの整備を先行して実施する。(実施時期の上段)

3. 3 特定経路事業計画

個別事業計画（１）

業務区分 特定経路			
路線名 津雲台53号線			
事業区間 千里南公園前交差点～阪急千里線高架下の交差点			
延長 130 m			
整備方針	・車道と歩道の段差・舗装老朽化の解消 ・歩道切下部の段差・勾配の解消 ・視覚障害者誘導用ブロックの整備 ・植樹帯の改良 ・低木の植栽（横断防止）		
事業の内容	事業量 (延長/箇所数)	実施予定期間	
		着手	完了
歩道内の段差、勾配の改善（一般部）	34.6 m	H25年度以降	
歩道内の段差、勾配の改善（乗入部）	2.0 箇所	H25年度以降	
車道・横断歩道等との段差・勾配の改善	2.0 箇所	H25年度以降	
視覚障害者誘導用ブロックの整備	256.4 m	H22年度	H22年度
その他の整備			
植栽改良工	7.0 箇所	H25年度以降	
低木植栽	365.7 m ²	H25年度以降	
事業実施に際し配慮すべき 重要事項	・概ねバリアフリー化されているため、視覚障害者誘導用ブロックの整備を先行して実施する		

個別事業計画（２）

業務区分 特定経路			
路線名 南千里駅高野線			
事業区間 阪急千里線高架下の交差点～高野台市民ホール前の交差点			
延長 760 m			
整備方針	・車道と歩道の段差・舗装老朽化の解消 ・歩道切下部の段差・勾配の解消（交差点部） ・視覚障害者誘導用ブロックの整備 ・車いすが通行可能な幅員に車止めの位置調整 ・植樹帯に坂道休憩スペースを整備		
事業の内容	事業量 (延長/箇所数)	実施予定期間	
		着手	完了
歩道内の段差、勾配の改善（一般部）	503.0 m	H22年度	H23年度
車道・横断歩道等との段差・勾配の改善	17.0 箇所	H22年度	H23年度
休憩スペースの確保	2.0 箇所	H22年度	H23年度
視覚障害者誘導用ブロックの整備	1,317.0 m	H22年度	H23年度
事業実施に際し配慮すべき 重要事項	・坂道休憩スペースは可能であれば上屋の設置も検討 ・済生会病院前は歩道改良済みのため視覚障害者誘導用ブロックの整備のみ実施する		

個別事業計画（3）

業務区分 特定経路			
路線名 津雲外周線			
事業区間 津雲台近隣センター前のロータリー～津雲台2交差点			
延長 400 m			
整備方針	・車道と歩道の段差・舗装老朽化の解消 ・歩道切下部の段差・勾配の解消（交差点部） ・視覚障害者誘導用ブロックの整備 ・歩道勾配解消に伴い植栽帯縁石の位置調整 ・低木の植栽（横断防止）		
事業の内容	事業量 (延長/箇所数)	実施予定期間	
		着手	完了
歩道内の段差、勾配の改善（一般部）	183.8 m	H25年度以降	
車道・横断歩道等との段差・勾配の改善	15.0 箇所	H25年度以降	
視覚障害者誘導用ブロックの整備	533.2 m	H21年度	H21年度
その他の整備			
低木植栽	194.0 ㎡	H25年度以降	
植栽帯縁石位置調整	168.6 m	H25年度以降	
事業実施に際し配慮すべき 重要事項	・津雲台近隣センター前は山田地区道路特定事業計画による ・概ねバリアフリー化されているため、視覚障害者誘導用ブロックの整備を先行して実施する		

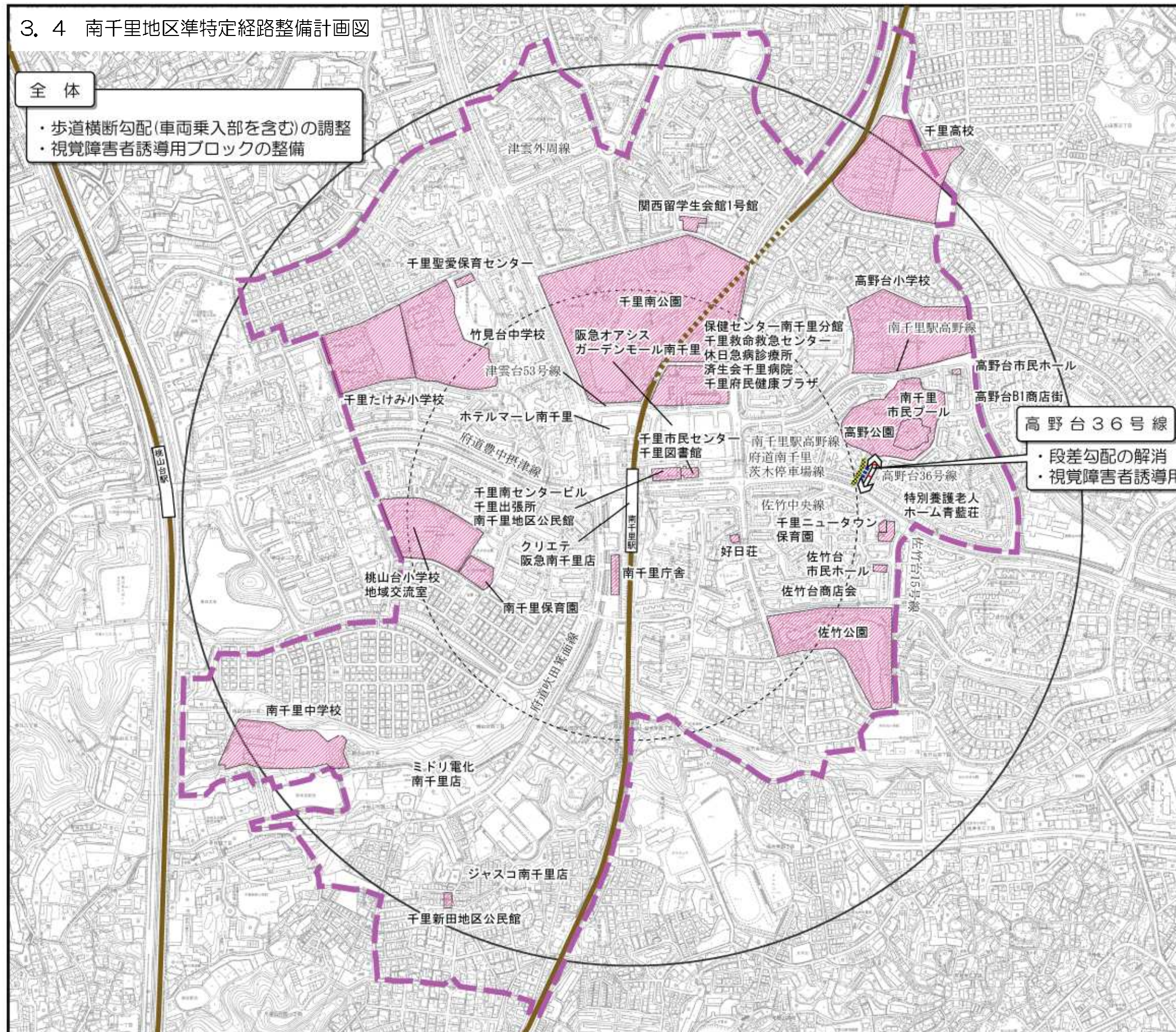
個別事業計画（４）

業務区分 特定経路			
路線名 佐竹台15号線			
事業区間 特別養護老人ホーム青藍荘前の交差点～佐竹台商店会前の交差点			
延長 210 m			
整備方針	・車道と歩道の段差・舗装老朽化の解消 ・歩道切下部の段差・勾配の解消（交差点部） ・歩行者横断防止柵の整備 ・視覚障害者誘導用ブロックの整備 ・植樹帯の改良		
事業の内容	事業量 (延長/箇所数)	実施予定期間	
		着手	完了
歩道内の段差、勾配の改善（一般部）	51.6 m	H25年度	H25年度
歩道内の段差、勾配の改善（乗入部）	1.0 箇所	H25年度	H25年度
車道・横断歩道等との段差・勾配の改善	13.0 箇所	H25年度	H25年度
歩行者防護柵の整備	138.5 m	H25年度	H25年度
視覚障害者誘導用ブロックの整備	351.6 m	H25年度	H25年度
その他の整備			
植栽改良工	8.0 箇所	H25年度	H25年度
事業実施に際し配慮すべき 重要事項			

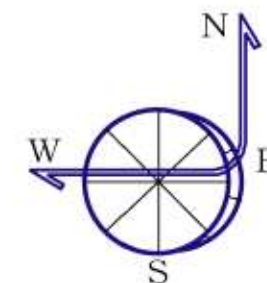
個別事業計画（５）

業務区分 特定経路			
路線名 佐竹中央線			
事業区間 佐竹台2交差点～好日荘前			
延長 100 m			
整備方針	・車道と歩道の段差・舗装老朽化の解消 ・歩道切下部の段差・勾配の解消（交差点部） ・歩行者横断防止柵の整備 ・視覚障害者誘導用ブロックの整備 ・低木の植栽（横断防止）		
事業の内容	事業量 (延長/箇所数)	実施予定期間	
		着手	完了
歩道内の段差、勾配の改善（一般部）	39.9 m	H25年度以降	
車道・横断歩道等との段差・勾配の改善	7.0 箇所	H25年度以降	
歩行者防護柵の整備	98.9 m	H25年度以降	
視覚障害者誘導用ブロックの整備	198.0 m	H23年度	H23年度
その他の整備			
低木植栽	89.7 m ²	H25年度以降	
事業実施に際し配慮すべき 重要事項	・概ねバリアフリー化されているため、視覚障害者誘導用ブロックの整備を先行して実施する		

3. 4 南千里地区準特定経路整備計画図



凡 例		
施 設	交 通 拠 点	駅 名
	施 設	
経 路	事 業 実 施 路	
	準 特 定 経 路	
個別施設の 整備改良等	段 差 ・ 勾 配 等 既 設 道 路 の 改 良	
	視覚障害者誘導用ブロックの設置	



路 線 名	延長 (m)	事業費 (百万円)	実 施 時 期	
			着 手 予 定	完 了 予 定
高 野 台 3 6 号 線	80	5.6	H25以降	
合 計	80	5.6	—	—

3. 5 準特定経路事業計画

個別事業計画（1）

業務区分 準特定経路			
路線名 高野台36号線			
事業区間 佐竹台診療所前バス停西側交差点～高野公園前			
延長 80 m			
整備方針	・車道と歩道の段差・舗装老朽化の解消 ・歩道切下部の段差・勾配の解消（交差点部） ・視覚障害者誘導用ブロックの整備		
事業の内容	事業量 (延長/箇所数)	実施予定期間	
		着手	完了
歩道内の段差、勾配の改善（一般部）	11.8 m	H25年度以降	
車道・横断歩道等との段差・勾配の改善	3.0 箇所	H25年度以降	
視覚障害者誘導用ブロックの整備	78.5 m	H25年度以降	
事業実施に際し配慮すべき 重要事項			

4. ソフト^{せさく}施策

吹田市では、基本構想策定段階から積極的な市民参加を進め、本事業計画を作成しました。

この中では主に特定経路・準特定経路内の市道部分についてのハード整備について記載していますが、ハード整備だけですべての人が安全・安心・快適に移動できるようになるとは言えません。エレベーターを設置したり、道路の段差を解消したりするだけでは本当の意味でのバリアフリーではないのです。

吹田市では、「人を思いやり、やさしくなれる」このことが、バリアフリーを進める第一歩であると考え、「だれもがやさしくなれる」吹田のまちづくりをめざしています。

そこで、本事業計画に記載しているようなハード整備のみでは早急な解決が困難である場合の取組みとして、また、ハード整備完了後もより多くの人が安全・安心・快適に移動できるための取組みとして、ハード整備とともに、以下のソフト施策も重点的に進めていきます。

■広報・啓発の推進

- 車道や歩道、身体障害者用の駐車スペース、公園等における迷惑駐輪や違法駐車、不法占用物（看板・商品のはみ出し等）対策として、公安委員会等関係機関・市民と協力しながら自粛の呼びかけ、指導、取締りを進めます。
- 総合教育や交通安全教育等の中でバリアフリーの啓発（交通用具利用者へのマナーの向上、子どもの頃からバリアフリーへの理解の向上等）を行う取組みを導入します。
- NPO、ボランティア団体、事業者等と連携しながら、バリアフリーの意識啓発、マナー向上を図るための、広報、イベント等を実施します。

■情報提供

- バリアフリーに関する情報ネットワークシステムの構築を検討します。
- 市内のバリアフリー情報の提供を進めます。
- わかりやすい案内表示の方法について検討します。

5. どうろとくていじぎょう
道路特定事業
せいび
整備スケジュール

地区名	区分	路線名	延長 (m)	事業費 (百万円)	実施時期(予定)		実施年度							備考
					着手	完了	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26以降	
千里山・関大前地区	特定 経路	佐竹千里山駅線	340	1,360.0	H21年度	H26年度								千里山駅周辺整備 事業
		千里山西春日線	370	23.7	H23年度	H24年度								
		小計	710	1,383.7										
	準 特定 経路	千里山東1号線	600	2.0	H25以降									
		千里山東千里山西1号線	280	2.1	H25以降									
		千里山東山手円山1号線	500	6.7	H25以降									
		小計	1,380	10.8										
	千里山・関大前地区計		2,090	1,394.5										
南千里地区	特定 経路	津雲台53号線	130	9.6	H22年度 H25以降	H22年度								概ね整備済み、視覚障害 者誘導用ブロックを先行
		南千里駅高野線	760	50.1	H22年度	H23年度								休憩施設整備を含 む
		津雲外周線	400	37.6	H21年度 H25以降	H21年度								概ね整備済み、視覚障害 者誘導用ブロックを先行
		佐竹台15号線	210	28.1	H25年度									
		佐竹中央線	100	16.0	H23年度 H25以降	H23年度								概ね整備済み、視覚障害 者誘導用ブロックを先行
		小計	1,600	141.4										
	準 特定 経路	高野台36号線	80	5.6	H25以降									
		小計	80	5.6										
	南千里地区計		1,680	147.0										
	総合計		3,770	1,541.5										

※実施予定期間は現時点での目標を示したものであり、今後、財政状況、事業進捗状況により変更することがあります。
 ※南千里地区(津雲台53号線、津雲外周線、佐竹中央線)は、概ね有効幅員が確保されているため、視覚障害者誘導用ブロックの設置を先行して実施し、
 その他工種については、H25年度以降に他地区の進捗状況と調整しつつ実施していく予定とします。

せんりやま かんだいまえ ちく みなみせんり ちく
千里山・関大前地区、南千里地区
すいたしこうつう どうろとくていじぎょうけいかく
吹田市交通バリアフリー道路特定事業計画
へいせい ねん ねん がつ
平成20年（2008年）5月

すいたし けんせつりよくかぶ どうろあんぜんしつ こうつうせいさくか すいしんがかり
吹田市 建設緑化部 道路安全室 交通政策課 バリアフリー推進係
おおさかふ すいたししずみちょう
〒564-8550 大阪府吹田市 泉 町 1-3-40
TEL(06)6384-1980/FAX(06)6368-9902
ホームページ <http://www.city.suita.osaka.jp/>
E-mail kotusei@city.suita.osaka.jp
